

2028年技能五輪国際大会 基本計画(ポイント)

2024年5月13日

2028年技能五輪国際大会招致に向けた有識者検討会

○ 開催の意義・目的

①人への投資の重要性を国内外にアピール

- ・ 技能人材の育成、特に若者や女性、障害者への投資の重要性を、技能の力で成長を遂げてきた日本・愛知から強く呼びかける。
- ・ 若者の技能レベルの向上を図るなど、技能五輪国際大会を活用した人材育成の取組を強化する。

②大会を通じた経済と産業の発展

- ・ 大会の開催を通じて若者の技能レベルの向上や技能尊重気運の醸成を図ることで、我が国や世界の経済・産業の発展に貢献する。
- ・ 小中高生やその親等への職業観教育の充実や技能の伝承に向けた取組を推進する。

③大会の持続可能性の向上

- ・ 環境負荷低減にも努めるなど、世界的なSDGsへの取組に貢献するコンパクトでサステナブルな大会を目指す。
- ・ 新たな大会モデルを示し、人々の印象に残るインパクトのある大会を実施することで、大会の持続可能性向上に貢献する。

○ 開催テーマ

「技能」がつなぐ、持続可能な未来
Linking skills for a sustainable future.

○ 開催概要

項目	概要	
名称	第49回技能五輪国際大会（日本・愛知大会）（日本名）	
	WorldSkills Aichi2028（英文名）	
日時・場所	競技	愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）
		2028年11月16日（木）～11月19日（日）
	開会式	IGアリーナ（愛知国際アリーナ）
		2028年11月15日（水）
閉会式 さよならパーティー	IGアリーナ（愛知国際アリーナ）	
	2028年11月20日（月）	
競技職種	62職種	WSI総会などで決定
参加国	65か国・地域以上	
参加者	選手 約1,700人、競技関係者等 約3,600人	

■ 愛知県国際展示場（常滑市）



■ IGアリーナ（名古屋市北区）



©Aichi International Arena Co.,Ltd.
画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

■ 競技会場付近



- ・ 空港に直結し、徒歩圏内に選手用ホテルを確保
- ・ 常設展示ホールと仮設エリアを併用し、選手・競技関係者と見学者双方の利便性に配慮

○ 個別事業計画

1 競技計画

- ・ **選手ファーストな大会とする**ことを前提に競技実施を支援。
- ・ 日本の工具メーカー等の強みを活かせるように、競技設備や工具を準備。

2 公式行事

- ・ **開閉会式、さよならパーティ**の実施。
- ・ **職業教育・訓練等をテーマとするフォーラム**の開催。
- ・ 各国選手が小中学校等を訪問し交流する「**一校一國サポート事業**」の実施。 等



3 付帯事業

日本・愛知の技能、世界の技能、未来の技能に触れる展示催事プログラムや次代を担う国内外の若者を対象とした**教育プログラム**などを実施。

■展示催事プログラム

参加国、主催国、スポンサーなどによるブース出展。 等

■教育プログラム

小中高生やその親を対象とした**技能体験プログラム**。
全国の小中学生などを対象とした**ガイドツアー**の実施。 等

■ユニバーサルプログラム

女性や障害者の技能を紹介する**イベント**等の実施。



4 運営計画

- ・ **安心・安全・快適な大会運営**の推進。
- ・ ボランティアによる**市民参加の重視**。
- ・ **SDGs**や「**ビジネスと人権に関する指導原則**」にも配慮。

5 輸送宿泊計画

- ・ **選手の宿泊施設**を競技会場から徒歩圏内に集約。
- ・ **関係者の宿泊施設**は競技会場周辺や名古屋市内に確保し、鉄道やシャトルバスで時間に**正確な輸送**を実施。

6 広報計画

- ・ **技能および技能者への尊敬を育むブランディング**。
- ・ 段階的な広報活動の展開による大会の**認知向上・来場促進**。
- ・ **多様な関係者の参画、SNSなど多様な媒体での広報**の実施。

7 協賛勸奨計画

- ・ 協賛活動を行う体制を整備し、広く協賛・寄付を依頼

8 事業継承計画(レガシー)

- ・ 教育プログラムなどの取組を国内の各種技能競技大会に継承。
- ・ **国内大会への海外選手の招聘**など**国際的な連携の強化**。
- ・ 2030年以降も**持続可能な大会モデル**の提示。

9 推進体制

- ・ **2025年を目途に公益財団法人第49回技能五輪国際大会日本組織委員会(仮称)**を設立し、大会準備を推進。